

ふたつの輪



発行
2016年9月24日
No. 2801
社会福祉法人
にりん草
東京都板橋区
大山金井町21-1
03-5926-8640

特集 わが所 自慢のクラブ紹介

とくまる朝日太鼓



板橋区蓮根にあるとくまる福祉作業所に通う、太鼓好きメンバーで活動している和太鼓クラブです。

太鼓を叩ける職員がお祭りで叩く姿を目にした利用者さんから、「私たちもやってみたい」と声が上がリ、平成17年に所内クラブとして発足しました。みんなで案を出し合って『とくまる朝日太鼓』という名前に決めました。

当初7名だった人数も現在は16名に増え、月に一度の活動日には、本蓮沼にある、民族歌舞団『荒馬座』の稽古場に通い、汗を流しています。活動は、荒馬踊りなどを取り入れて、「ラッセーラー」と掛け声をかけながらの楽しいストレッチから始まります。

軽く汗をかいた後、お待ちかねの太鼓打ち。「ドンドンドーン」と稽古場には大きな音が鳴り響きます。簡単なリズムを繋げて作った曲ですが、そこに締め太鼓と篠笛と鉦(かね)を加え

グループホーム ほのか

多くのグループホームでは、世話人さんが調理を担当し、また、食材も宅配サービスを利用してケースが多いと聞いています。

また、職員が調理しているのは、自家製のミニトマトを使用したジュレです。ある一週間のメニューを



- ブナゼイト(梨)
- 木曜：アジの開き・かぼちのそぼろ煮・オクラのおひたし・納豆・ご飯・味噌汁
- 金曜：鶏肉のピカタ・小松菜と焼き生揚げの胡麻和え・ご飯・味噌汁
- 土曜：カレーライス・シーザーサラダ・玉子豆腐・味噌汁
- 日曜：やまかけ丼・肉じゃが・焼きなす・シシミ汁

思わず笑顔になる夕食です



紹介させていただきます。
月曜：冷やし中華・稲荷ずし・煮物
火曜：ちらし寿司・煮物・あえ物・味噌汁
水曜：ホイコーロ！
さゆりのたらこ酢
和え・枝豆腐・中華スー



ほのかでは月単位でのメニューは決めていません。そのため、利用者さんは帰寮するなり、調理職員に、「今日の夕食は何か」とたずねてきます。また、食後は、明日はどんな料理が出るのかなど、利用者一同夕食を心待ちにしています。

ると、とても華やかな楽しい曲になります。みんなが時間を忘れて、夢中になって太鼓を叩く一時間。活動後には心も体もすっきり爽快！メンバーの顔に笑顔が広がります。

- ・太鼓をやっているときは楽しいけれど、腕が痛くなる。
- ・一番太鼓をやっているのが、お祭りを楽しみにしてね。
- ・太鼓を叩くとストレス発散ができる。
- ・上手に叩けるとうれしい。
- ・大変だけど自分で頑張っている。
- ・太鼓クラブは大好きで、大きな音は身体に響くけど大丈夫。

・太鼓が楽しい。他にもたくさん喜びの声を聞くことができました。講師の北中さんは「太鼓が縁でとくまるの皆さんと出会うことができて嬉しく思っています。月1回の練習ですが、3年の積み重ねで構成の変化もなんのその、職員の皆さんのアシストもあり毎回の稽古が楽しみです。今年はメンバーも増えて、更にパワーアップした姿がどんぐり祭りで見せたいと思います」と話しています。

おおよま福祉作業所

作るの大好き！ 伝統のレザークラフトクラブ

おおよま福祉作業所のレザークラフトクラブの歴史は、なんと20年以上。現在部員は6名で、1、2か月に1度、笠原先生の指導のもと活動しています。

レザーの穴あけ、糊づけ、色づけ、縫製、磨きなどの工程を利用者一人ひとりが担当。財布、ポーチ、ペンシルケース、キーホル



ダーなど作品の種類もさまざまです。特徴的なマープルカラーの作品は、そのときどきの染め具合によって色合い・模様もいろいろと変化するので、それもまたつくり手の楽しみのひとつになっていま



完成すると区役所内のスマイルマーケット(月1回)や地域の祭り、その他イベント会場などで利用者と一緒販売します。売れ筋は「開運12支ストリップ」で、型押しされた千支がかわいいと評判です。

「仕上がりにはこだわりたいので、利用者が楽しんで活動に参加してくれるのがいちばん」と笠原先生。

おおよま福祉作業所伝統のレザークラフトクラブでは、手先を動かしたり、モノを作ったりすることの好きな利用者たちが今日もまた新しい作品づくりに励んでいます。